

Nagoya Film Meeting 2016

11:30 OPEN
12:00 S Program (60min.)
13:15 A Program (31min.)
14:00 B Program (40min.)
15:00 G Program (50min.)
Guest/ Takehiro Sakai

Animation



1. 『トマトまるのみのうた』 (2015年, 1' 30'')
今すぐトマトをまるのみしたくなる！オリジナルソング「トマトまるのみのうた」にのせてトマトの妖精たちが素敵なトマトワールドを繰り広げます。

こさきたん
2016年。大阪デザイナー専門学校卒業。現在は、株式会社ミツマメプロでお手伝いしながら、絵本とアニメーションの作家活動中です。夢はカッパさんの妖精さんになることと、みんなが幸せを感じるような作品を届けられる作家さんになることです。

2. 『Potori』 (2014年, 4' 07'')
落ちて、足掻いて、起き上がるまでの話。(人間関係や仕事面などで色々上手くいってないときに、調子の悪い気持ちを表現したくて作りました)

内藤日和
1989年大阪府生まれ。2012年大手前大学メディア芸術学部卒業。子どもと大人の感覚や視点を対比したユーモアや、記憶や質感、鬱屈した気持ちを意識したアニメを制作しています。

3. 『おちんちんの悩み』 (2014年, 1' 22'')
天使の男の子がおねしょで悩んでいると、周りの男達はアドバイスをしたり足を引っ張ったり。そんな彼らを待っていたのは……。

香取剛
役者活動と並行して映像制作を学ぶ。2014年より監督として映像制作もスタートする。本作が初監督作。主な出演作:『壁女』『あかぼし』『虚しいだけ』『水の足跡』『反駁』『死神ターニャ』。

4. 『森の洞窟』 (2013年, 6' 30'')
とある村はずれの森の奥には、神様が住んでいると言われる洞窟があり、かつてはたいそう大切に祀られていたそう。虫取りに励んでいるうちに森の中に迷い込んでしまった少年は見知らぬ洞窟を見つけた。

植田翔太
アニメーション作家。京都造形芸術大学情報デザイン学科アニメーションコース卒。絵が動くという面白さに惹かれ、アニメーション制作を始める。映像の他にもイラストレーション・写真・立体造形等も。

Program A
13:15



5. 『おにぎりくん』 (2013年, 9' 35'')
校外のコンビニで働く頭がおにぎりのフリーター ‘おにぎりくん’ を描いたアニメーションです。作者が深夜のコンビニでポツンと売れ残ったおにぎりを見つけ、妙に共感した事から制作を始めました。

倉橋一平
早稲田大学川口芸術学校で映像を学ぶ。2013年に同校を卒業し、フリーのアニメーターとして活動始める。主に短編のアニメーションに関わり作画やキャラクターデザイン等を担当中。

6. 『紙風船』 (2' 24'')
春の季語「風船」をテーマにした作品。春のある晴れた日、おばあさんは孫と紙風船で遊んだ。紙風船が気に入った孫は、毎日触って遊ぶようになった。そして桜が散り始めた頃、孫は春の命の儚さを知る。

鍋香織
東京工芸大学芸術学部アニメーション学科2年生。

7. 『夜を飛ば』 (2015年, 3' 00'')
夜目を閉じると見えるものがある。これは残像なのか、実際に見えているのか、記憶なのか、ゆめなのかわからない。カメラでは撮影できない映像を作ろうと思い、アニメーションとして制作。

さとうゆか
1992年北海道生まれ。北海道教育大学大学院在籍中。紙と版を使いアニメーションを制作している。

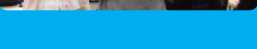
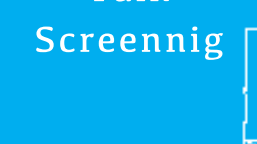
8. 『おおきなしゅうかく』 (2013年, 0' 50'')
釣り人と水底に眠る魚がいました。自分の作ったアニメーションに釣られてしまった、あるアニメーターのお話です。

はらだわかこ
京都精華大学卒業。ストップモーションアニメーションを中心に映像を作っています。現在、人形アニメーションを制作中です。

Program B
14:00

1.daughter (2015年, 9' 58'')
洋司は芽えないサラリーマン。ある日、娘の美優が芸人と結婚したいと言い出す。母は賛成するも、洋司は大反対。美優と喧嘩してしまう。洋司は、街の占い師に相談するのだが……
大黒摩季「リーマンブルース」に合わせて製作された、心温まる家族3人のコメディMV (ミュージックビデオ)。

たかせしゅうほう
1976年3月6日、福岡県生まれ。大阪、高知、福岡、オタワで育つ。33歳で脱サラ、35歳で監督・脚本家としての活動を開始。初年度より、NHKケータイ大喜利“ミニミニ”映像祭り最優秀作品賞など数々の賞を受賞。「見た人がニヤリとする上質でバカバカしい笑い」と「ちょっとした感動」が持ち味。全国の映画祭で短編映画が入選する一方、2014年には、自身初のテレビドラマ「ただいま会議中」が視聴者投票番組で史上最高得点を獲得、2015年にレギュラー番組となるなど、活動の幅をテレビに広げている。film_puzzle所属。



2. 『瓜二つ』 (2015年, 14' 19'')
ある男は倉庫に入り込み、そこで見つけたジャガイモを手取るのだが…。

山川智輝
2012年、『けいどうみやく』が第4回学生残酷映画祭で審査員特別賞を受賞。2016年、『瓜二つ』が調布映画祭2016第19回ショートフィルム・コンペティションでグランプリを受賞。

3. 『だった人』 (2016年, 12' 56'')
別れた恋人の家にある荷物をまとめる。

藤木裕介
1984年、静岡県生まれ。国内外の映画祭で評価を得ている。

Special Guest
15:00

自主制作とは、自主的に、他者と、作ること。

ネットで情報が溢れ映像も均質化されている現在、地域で映像を制作するとはどういうことか。名古屋で自主制作を続ける酒井健宏監督をお招きし、ご自身の関わられた作品の上映を交えつつ、地域における映像制作の状況や活動の意義についてお話いただきます。



『バイオレンスあわや』チームあわやさとる (2015年, 10' 00'')
(名古屋芸術大学デザイン学部MCDコース・2014年度「映像演習」課題作品・担当: 酒井健宏)

酒井健宏(さかい たけひろ)氏プロフィール
1977年、愛知県生まれ。名古屋大学大学院情報科学研究科博士後期課程中退。映像作家・映画研究。各種学校で映像制作の講師を務める。98年に大学の映画サークルに所属したことで制作を始める。07年『キッス占い』がTAMA NEW WAVE コンペ部門入選。11年『CSL / タカボンとミミミ』がうえだ城下町映画祭自主制作映画コンテスト審査員賞受賞。14年『ハチミツ』が第1回LOADSHOWコンペティション入選。

映像制作を学ぶ学部や専攻を置く大学・専門学校が増えていきます。映像をもちいる表現が社会的に注目を浴び、その重要性が広く認識されているからこそでしょう。在学中に積極的に制作活動に取り組む人も現れ、良い作品も生まれています。しかし一方で、卒業してからも自主的に制作を続ける人は少ないようです。自主制作の難しさや課題を共有し、作り続けることの意義や手がかりをともに考えます。

S

Animation

Special Program

12:00

京都造形芸術大学

大西ゼミ卒業・修了制作選集

京都造形芸術大学にはアニメーションを学べる場所がいくつかありますが、今回ご紹介する作品は芸術学部・情報デザイン学科の卒業制作と大学院・ビジュアルクリエイション領域の修了制作です。いずれも同ゼミの大西宏志先生が指導された学生たちの作品です。このゼミの特徴は、技術や視覚的な効果だけを追求するのではなく、柔軟性に富み詩的な映像表現が可能なアニメーションの特性を活かして個々の問題意識を映像化する点にあります。

1.『からだにめーしょん』中西綾（2016年、3'05"）
人の身体の動きの面白さに着目してアニメーションをつくりました。

2.「唯人間」藤井有美子（2015年、3'00"）
人間の本質や本性がテーマです。2014年度京都造形芸術大学卒業制作展で同窓会賞を受賞しました。

3.「惧」鄧小草（2015年、4'02"）
聴覚を失う不安感と恐怖感を伝えるアニメーションです。心理描写と視覚のショックをポイントに制作しました。

4.「新山海伝」徐文龍（2016年、5'38"）
敦煌莫高窟の壁画タッチで現代中国の課題を描きました。2015年度京都造形芸術大学大学院修了制作展で同窓会賞を受賞しました。

5.「パンダ城」方葉舟（2015年、5'58"）
子どものパンダと人間の少女の友情を通して動物保護をアピールしました。フェルトで作った立体的な背景に手描きのアニメーションを合成しています。

6.「拔塞大 -BASSAI-DAI」ヨルギウ・パノス（2015年、5'59"）
拔塞大は空手の型の名前で、右手を握り拳にして左手で覆います。拳を隠すことで平和の尊重を意味しています。登場するキャラクターは、地、水、空、風の五大要素から構成しています。

7.「Wolves」井川萌（2016年、5'13"）
本能に従って生きたい欲求と社会的立場を失うことへの恐怖は、多くの人が抱えている矛盾ではないだろうか。広島国際アニメーションフェスティバル 2016 現代日本のアニメーションプログラムで正式上映されました。

8.「Фаворитка Favoritka」ジダーノワ・アリーナ（2016年、5'31"）
アイデンティティを探す旅。ひとつの限らない記憶の線をたどっていく。広島国際アニメーションフェスティバル 2016「現代日本のアニメーション」プログラムで正式上映されました。

9.「お元気ですか？」キム・ダンビ（2015年、12'32"）
主人公は現代社会で熾烈な人生を送っている我々の姿と似ている。私は彼の姿を通じて、私自身と観客に問いかけたい「お元気ですか？」と。韓国に伝わる「高麗葬（こりよじゃん）」をモチーフにした手描アニメーション。

NFM

名古屋フィルムミーティング 2016
2016.11.5（土）11:30 開場 / 12:00 開演
入場料：無料
12 階 アートスペース E・F 室

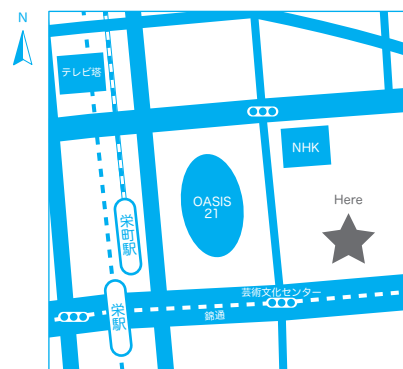
12:00 S プログラム (60分)
13:15 A プログラム (31分)
14:00 B プログラム (40分)
15:00 G プログラム (50分)

「名古屋フィルムミーティング」では
全国からの若手作家や学生の意欲あふれる作品を上映しています
また、観客の皆様の投票により「観客賞」を選ばす
これと思う監督さんへ応援の 1 票を投じてください
次回作への原動力となることでしょう

菅我部哲也（中京大学工学部講師）
大塚浩平（国際アニメーションフィルム協会日本支部会員）
林緑子（シアターカフェ・スタッフ）
伊藤仁美（映像作家）

<http://filmm.info>
info@filmm.info

主催：日本映像学会ショートフィルム研究会
運営：名古屋フィルムミーティング実行委員会
フライヤー / サイトデザイン：伊藤仁美



愛知芸術文化センター
12 階 アートスペース E・F 室

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目
13 番 2 号

地下鉄・東山線 / 名城線「栄」駅下車
徒歩 3 分（オアシス 21 から地下連絡通路
経由）

©2016 Nagoya Film Meeting

Nagoya Film Meeting

2016.11.5 sat | open 11:30 start 12:00

at Aichi Arts Center | 12F Art Space EF

Entrance Free